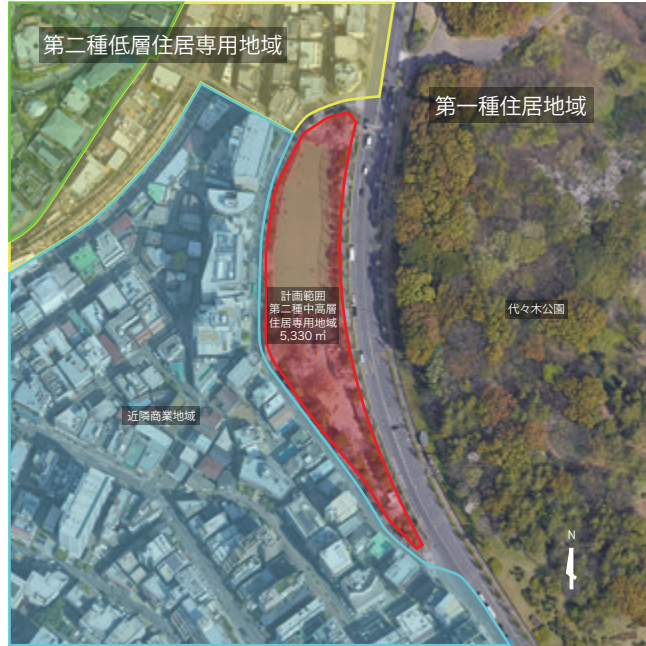


YYG project

2. 敷地選定



1. はじめに
建築の本質とは何か？という問いに対し、私はここ最近、建築の「建ち方」こそがその本質ではないかと考える。なぜならほとんど全ての人にとってほとんど全ての建築は外観としてしか存在していないと考えるからだ。
そこにあってじっくりくる形というのは非常に感覚的な言葉だが、しかしある種の建築の到達目標の一つであると言える。全体主義のシンボリックな建築は明らかにそうではないし、かといってコンテクスチュアリズムのように周囲に埋没してゆく建築もそうでない。様々な与条件から距離をとった、自律的な建築の建ち方を考える。

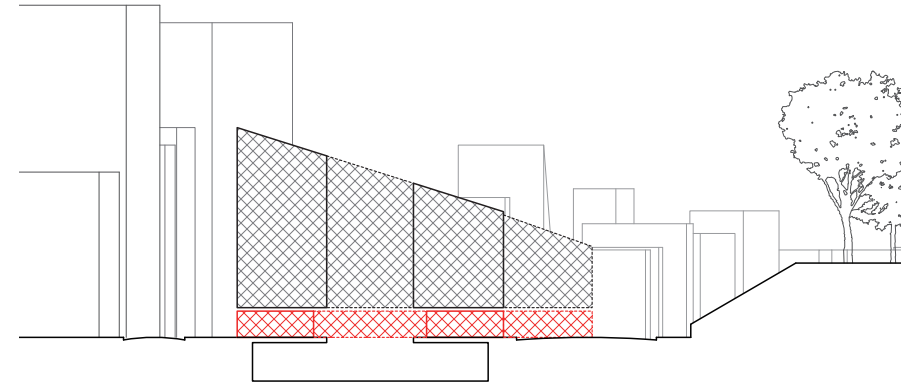
3.1. フットプリント

2. 敷地選定
ここでは建築の自律性を他者に求めることにした。ここでの他者とは敷地境界線や建蔽率、斜線制限など建築の形態を決定する上で無視できない要素を指す。他者性を増やすため接道面が大きく、周辺環境が多様なことを条件に敷地を選定した。
自律性を他者に求めると先述したが、それは周辺環境や様々な規制に隷属するという意味ではない。特定の他者の特権化せず、等価に扱うことで初めて建築の自律性を他者に求めることが可能になると考える。敷地は代々木公園西の大きな法面に面し、全面が接道している。用途地域は第二種中高層住居専用地域、敷地の北側は第一種住居地域、西側は近隣商業地域。他者から抽出した線の選択を繰り返すことで、自律的な建築の建ち方の有り様を探る。

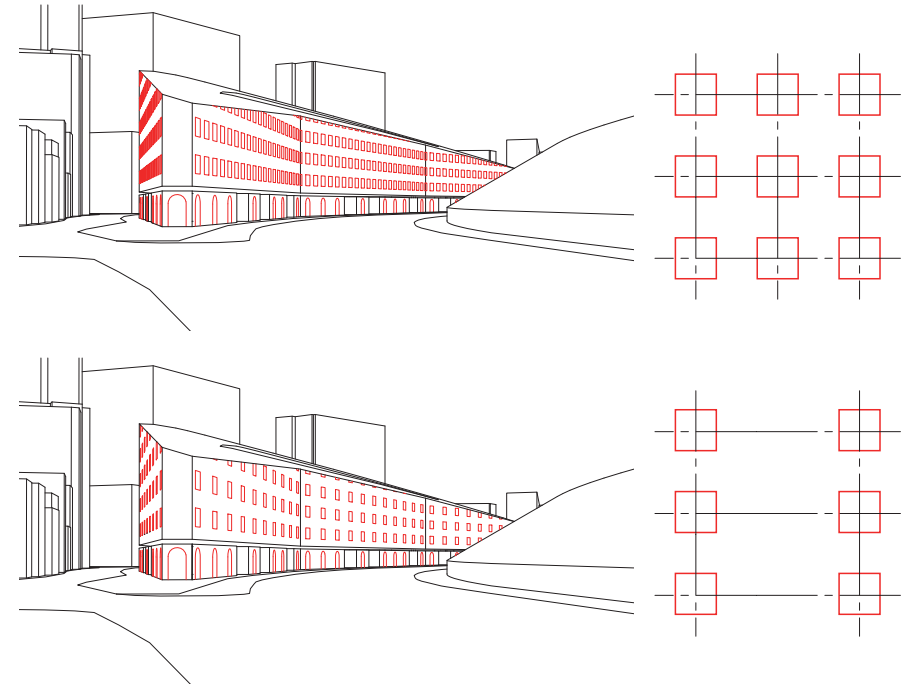


3. 自律的な建ち方
まず始めに建築のフットプリントを決めた。周辺環境を考慮し、敷地境界線をセットバックした線を建築のアウトラインとした。建蔽率を考慮してさらにその線を等距離でセットバックし、中心を

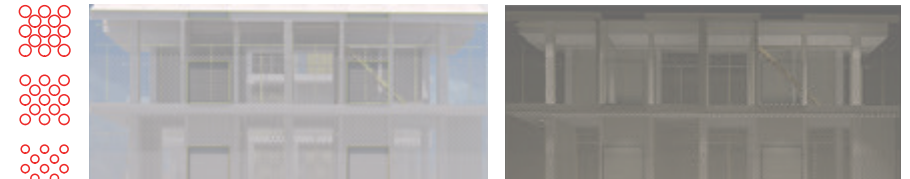
3.4. 上下の分節

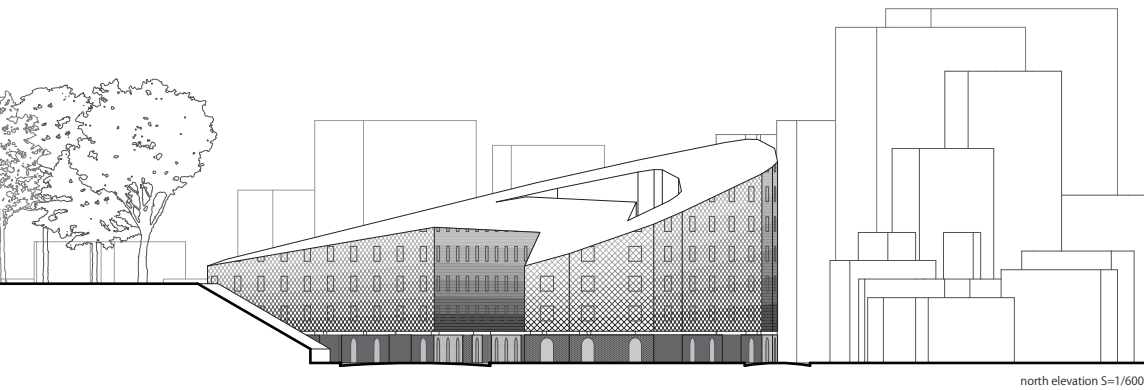


3.5. 開口部

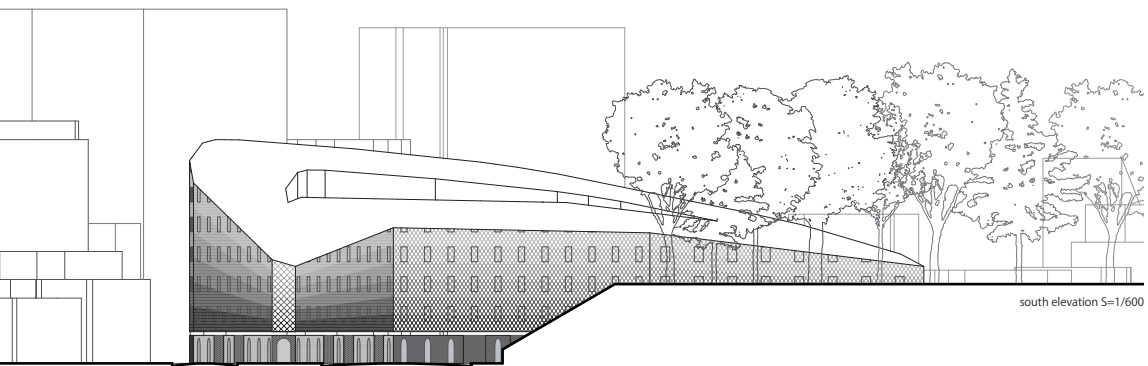


3.6. 素材

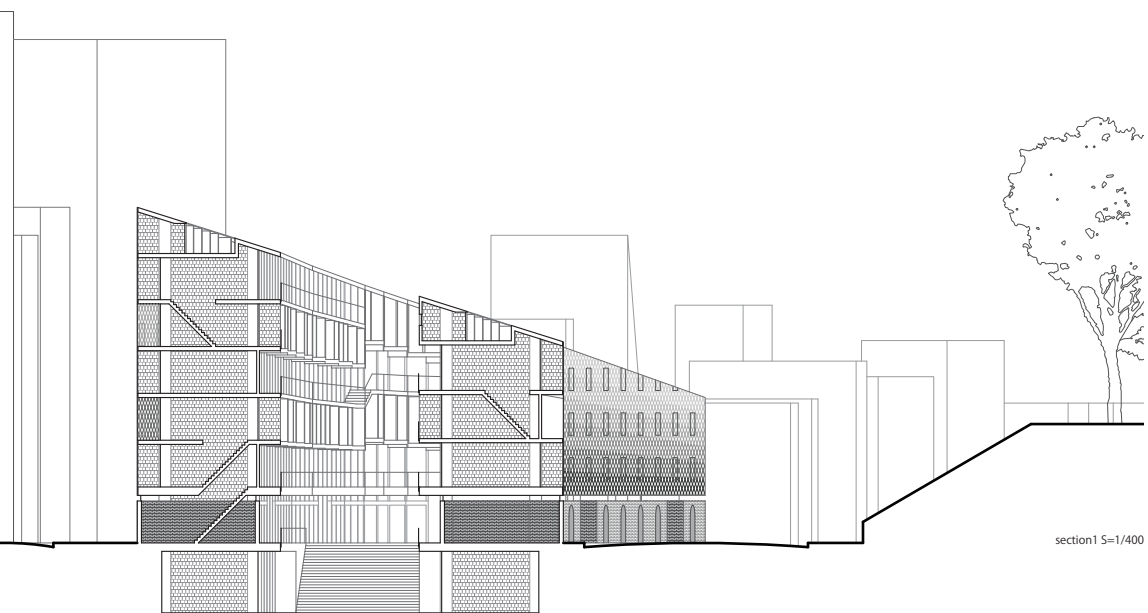




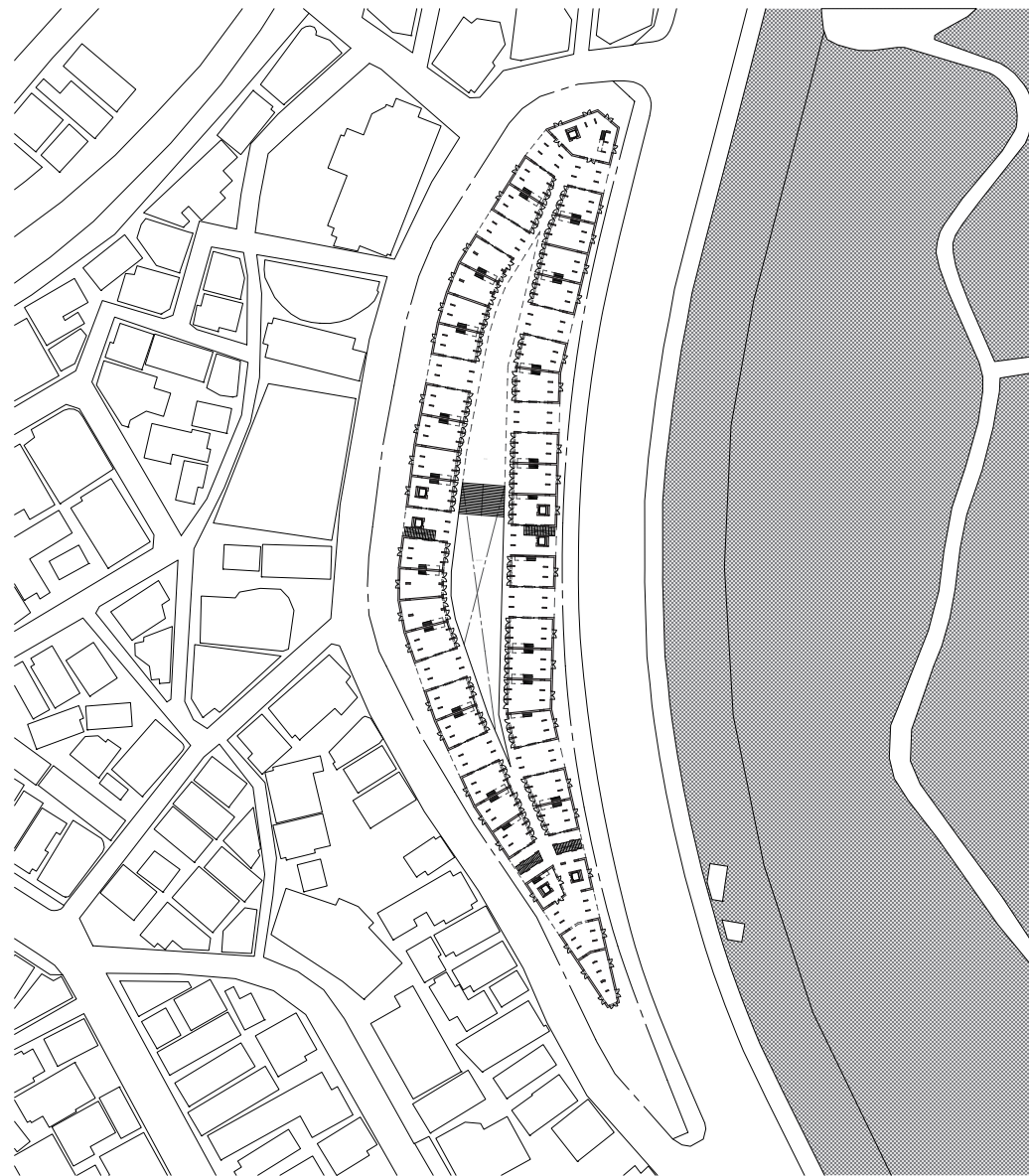
north elevation S=1/600



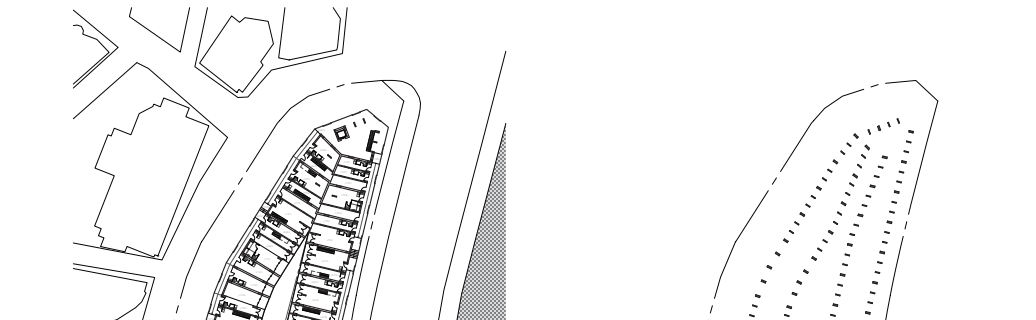
south elevation S=1/600



section1 S=1/400

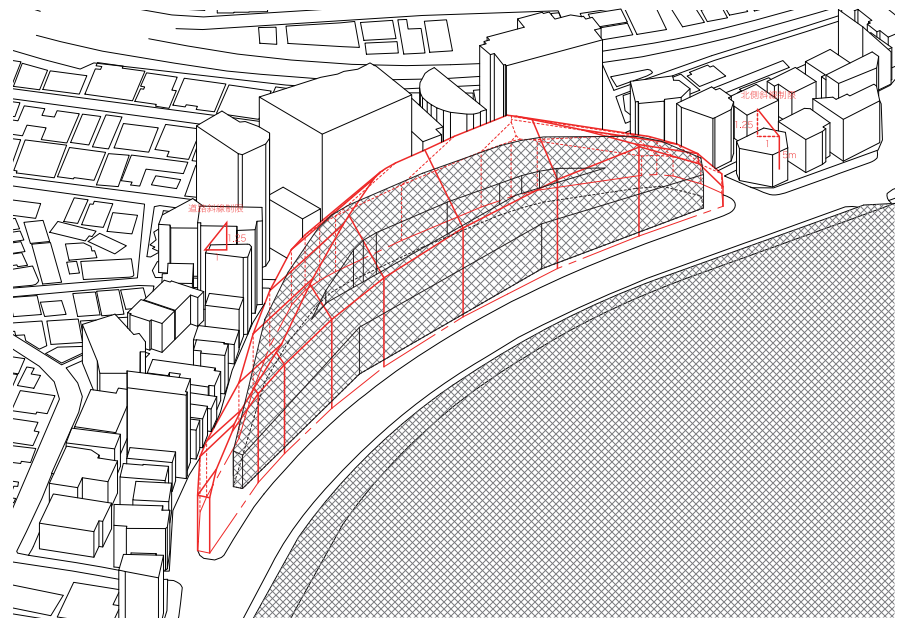


1F plan S=1/1000

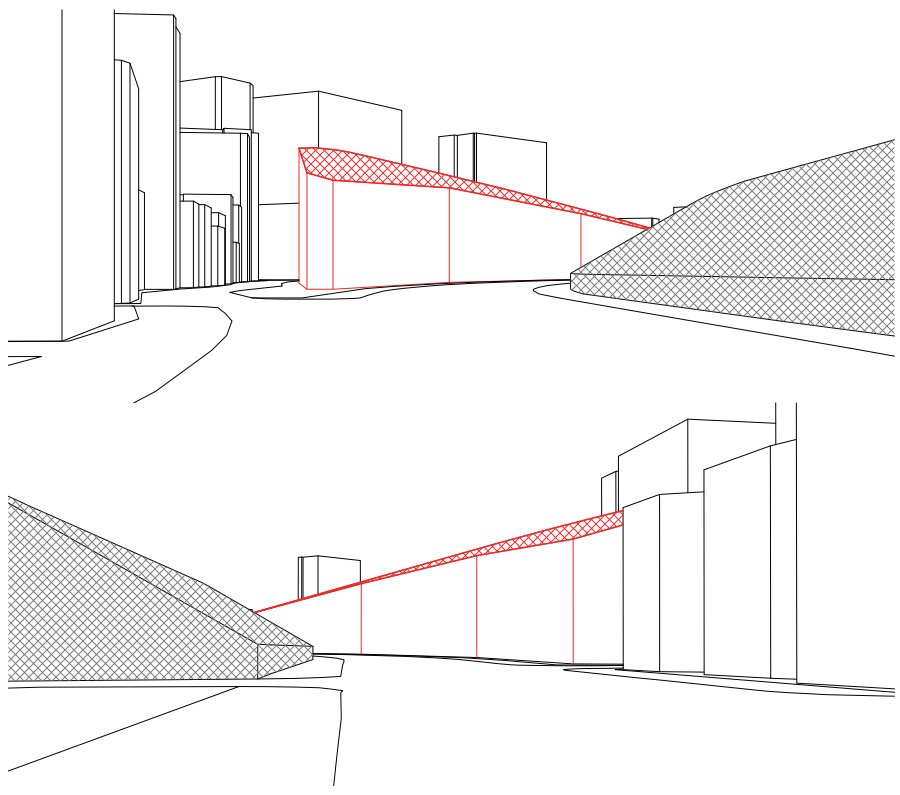


緑を等距離でセグドパワングレ、中心をガイドとした。

3.2. 斜線制限とボリューム



3.3. 屋根勾配



次に斜線制限と全面道路からの見えを踏まえ、屋根面の検討を行った。公園に向かって下がる片流れとすることで建築の両端の高さを抑え、敷地西側の建築群の高さの変化に沿った外形線をつくり、代々木公園の法面の土木スケールと対峙させた。

接道の状況と、敷地の南端で地下鉄代々木公園駅に接続することから、1階部分を基壇としてGLは解放し、通り抜けるものとした。基壇の上にボリュームが載るような構成とし、上部のボリュームはパンチングメタルで覆うことで浮遊感を持たせた。

4. 内外の乖離 / 形式と持続性

さて、この建ち方に対し、内部はどのようにするかが問題となる。建ち方こそ建築の本質である、という立場としては内外を切り離して考えるというやり方は十分にあり得る。しかしそれではあまりに凡庸だ。ここでは都市の論理による建ち方に対し、内部は容積率や避難経路、平面の収まりなど、言うなれば建築の論理に従い、都市の論理とぶつける部分と、逆に設計の履歴を読み取る部分とを織り交ぜることで内外の乖離を前向きに捉えることを試みた。

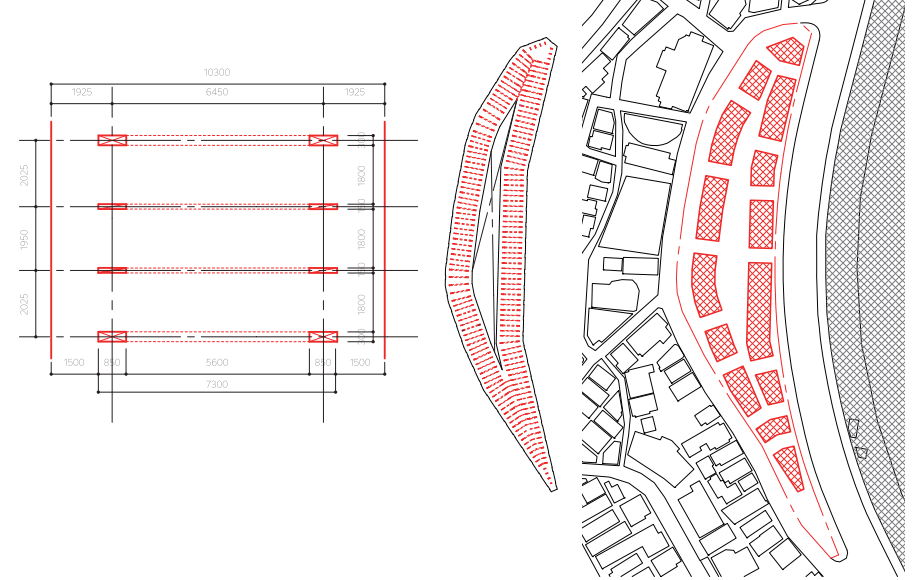
プログラムは用途地域からRC造の集合住宅とし、上部に住居、GLは居住者がSO-HO的に使用、地下鉄に繋がる地階はテナントが入ることを想定し、それを補助線として建築の形式を考えた。平面を効率よく使い切るために6,000のスパンを基準にそれを短手方向に3分割した短冊状の平面を骨格とした。

リテラルに最大の床面積をつくり出すため場所ごとにスラブの積層数を変えた。スラブのレベル差が外壁面に設けた均一に配置された開口部と衝突することで、内部では開口部が階をまたいでいたり、妙な位置にあったりと、多様な関係性が生まれている。

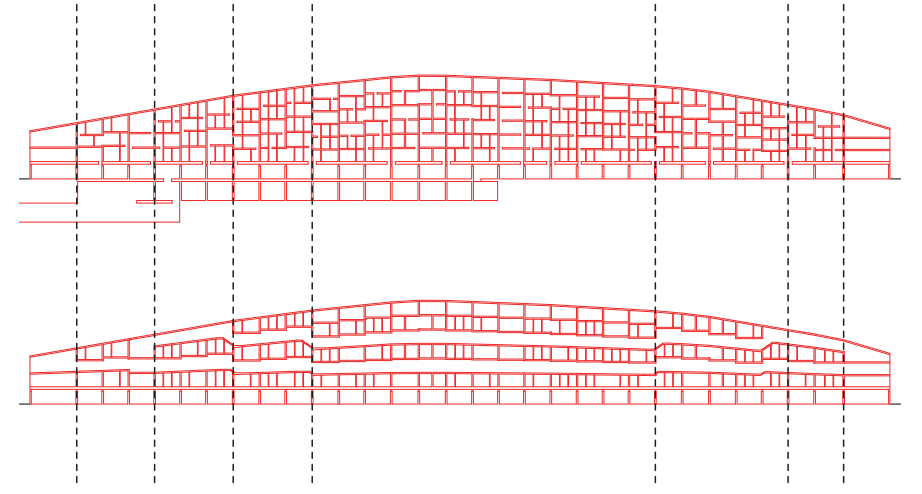
開口部とスラブ、そしてパンチングメタルが生み出す光の変化の三者の妙な関係性を巡るシークエンスは、内外の対立や想定したプログラムを超え、その変化に耐える持続性を持っているのではないだろうか。

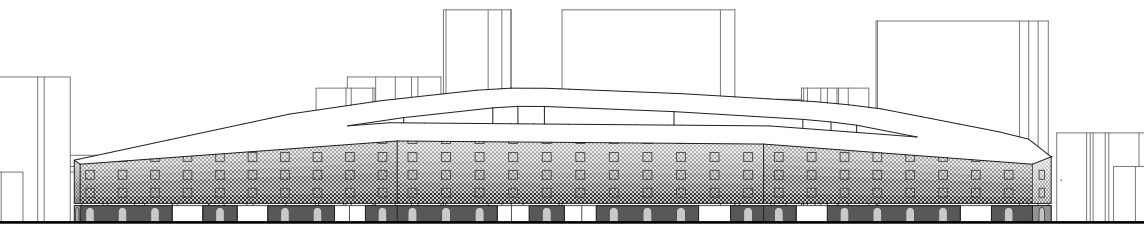


4.1. 小さなモジュール

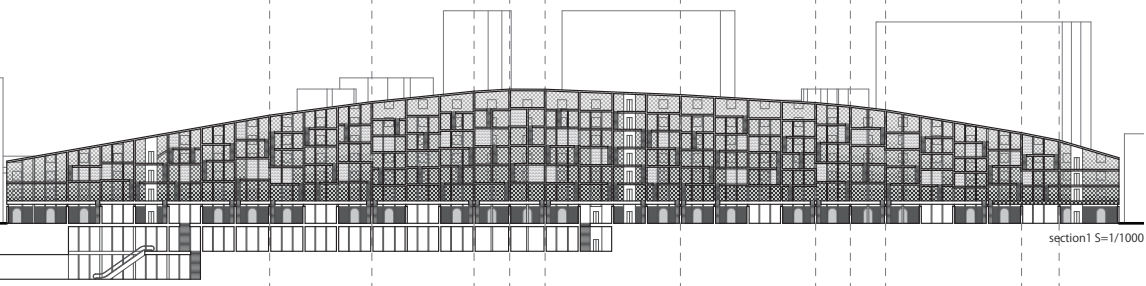


4.2. 容積と積み方

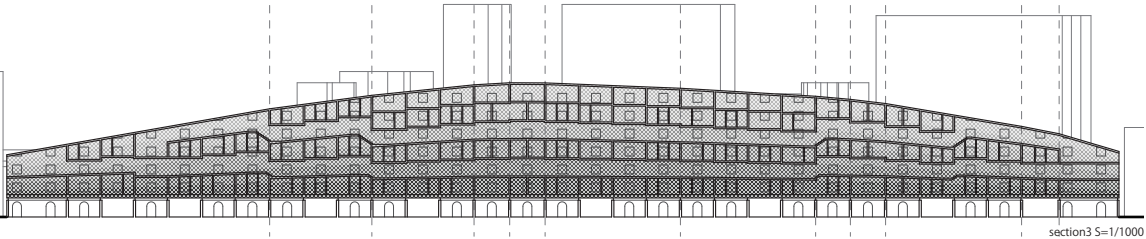




east elevation S=1/1000



section1 S=1/1000



section3 S=1/1000



B1F plan S=1/1000

